

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第3区分
【発行日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【公表番号】特表2002-510456(P2002-510456A)
【公表日】平成14年4月2日(2002.4.2)
【出願番号】特願平11-539090
【国際特許分類】

H O 4 N 9/07 (2006.01)

【F I】

H O 4 N 9/07 A

H O 4 N 9/07 C

【手続補正書】
【提出日】平成18年1月17日(2006.1.17)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成18年1月17日



特許庁長官 殿

1 事件の表示

平成11年特許願第539090号

2 補正をする者

住所 オランダ国 5621 ベーアー アインドーフェン
フルーネヴァウツウェッハ 1
名称 コーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス
エヌ ヴィ

3 代理人

住所 〒108-8507 東京都港区港南2丁目13番37号
フィリップスビル
株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン内
氏名 (8778)弁理士 津軽 進



4 補正対象書類名

明細書

5 補正対象項目名

請求の範囲

6 補正の内容

別紙の通り



(別紙)

請 求 の 範 囲

1. 第1の他のカラーにより影響される所与のカラーの第1の値と第2の他のカラーにより影響される所与のカラーの第2の値とを持つ入力信号に依存して、前記所与のカラーの出力カラー信号を補間する方法であって、前記所与のカラーの信号がない位置で中間のカラー信号を補間し、前記第1の値と前記第2の値との両方に依存して前記所与のカラーの平均値を生成し、前記中間のカラー信号と前記平均値との両方に依存して前記出力カラー信号を出力するステップを有する方法。
2. 前記出力するステップが前記入力信号の輪郭に依存する請求項1に記載の方法。
3. 第1の他のカラーにより影響される所与のカラーの第1の値と第2の他のカラーにより影響される所与のカラーの第2の値とを持つ入力信号に依存して、前記所与のカラーの出力カラー信号を補間する装置であって、前記所与のカラーの信号がない位置で中間のカラー信号を補間する手段と、前記第1の値と前記第2の値との両方に依存して前記所与のカラーの平均値を生成する手段と、前記中間のカラー信号と前記平均値との両方に依存して前記出力カラー信号を出力する手段とを有する装置。
4. 第1の他のカラーにより影響される所与のカラーの第1の値と第2の他のカラーにより影響される所与のカラーの第2の値とを持つ入力信号を出力するセンサと、請求項3に記載の装置とを有するカメラ。